

第 1 回 足利市学校教育環境審議会 会議概要

開催日時		令和3(2021)年4月13日(火)14:00~15:50
開催場所		足利市役所教育庁舎4階会議室
出席者 (敬称略)	委員	人見委員、冨永委員、岩田委員、岡村委員、橋本委員、赤坂委員、宮本委員、源田委員、増田委員、大塚委員、沼田委員、古川委員 委員12名(13名中)
	事務局	小林教育次長、菊川教育総務課長、石井生涯学習課長、清水学校管理課長、近藤学校教育課長、腰高教育総務課総括主幹、蓼沼教育総務課主幹、齋藤教育総務課主任、林学校教育課主幹、坂田教育研究所次長
会議次第		1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員の任命及び紹介について 4 会長、副会長の互選について 5 諮問について 6 議事 (1) 会議の公開について (2) 審議会の目的等について (3) 目指すべき子ども像・求められる学校像の実現に向けて (4) 足利市の状況について (5) 教職員の適正な配置について 7 その他 8 閉会
会議の公開について		公開
傍聴者数		2名

会議の概要		
1 会長、副会長の選出について		委員の互選により、会長に人見委員、副会長に岩田委員を選出した。
2 諮問について		須藤教育長から人見会長に諮問書を提出した。
3 議事 (1) 会議の公開について	事務局	「第1号議案 会議の公開について」、事務局より説明し、了承を得た。
(2) 審議会の目的等について	事務局	「第2号議案 審議会の目的等について」、事務局より説明し、了承を得た。
(3) 目指すべき子ども像・求められる学校像の実現に向けて	事務局	「第3号議案 目指すべき子ども像・求められる学校像の実現に向けて」、事務局より説明後、以下の意見があった。
	委員	中学校区教育の中で、9年間の義務教育期間を見通して、子ども像の説明があったが、「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 足利っ子」を前面に出し、全校として一本化でも良いと思う。中学校区の特色を出すと、ぼやけてしまうと感じるがどうか。
	事務局	目指すべき子ども像については、足利の教育目標等の具現のための子ども像となっている。 目指すべき子ども像は高い目標であり、その中で各学区の実態・特色等を踏まえ、うちの学区では特にここに力を入れたい、といった設定をしていただきたい。
	委員	中学校区教育、義務教育期間を見通して各学校の特色を生かしていると説明を聞いて、保護者として学校の特色を選んでその地域に住んでいるわけではな

		く、保護者は選択が出来ないなという意見である。住んでいる場所で学校が決まるので、学校を選べないのが現状であるが、市としてどのように考えているのかお聞きしたい。
	事務局	足利市では住んでいる学区で進学する小学校・中学校が決まる。大きな枠として学習指導要領があり、その中で基本的に教えるものは同じであるが、地域の中で、例えばある学区では、八木節の活動が大変盛んであるから、運動会で取り入れたりしている。それぞれの地域の特色があり、足利市としてはそれぞれの学校の基本は同じだが、その上にそれぞれの学校の特色を持っている。その中で、例えばお子様がその学校の特色とうまく合わないようであれば、すぐに学校へ相談していただきたい。学校も地域と家庭の方と一緒に子どもを育てていきたいという思いである。
	会長	補足すると、基本的には、みんな同じことを学習するのが学校である。特色というのは、ウエイトのかけ方。うちの学区は、こういうことにウエイトをかける。となりの学区はちがったことにウエイトをかける。そういったバランス的な意味合いで捉えてもらえればと思う。県北はそばが有名で、そば打ち体験をやる学校とやらない学校がある。うちの学校はそば打ち体験やらないのかという保護者の声が上がれば、可能な範囲で対応するようである。ウエイトのかけ方をどうするか、そのためにも保護者の皆様からの意見を学校に届く体制は整備できているので、校長先生をはじめリクエストしていただければと思う。本日の説明は理想像であり、共通性の部分が高い説明である。 大変良い質問であり、引き続きお願いしたい。 国の基準を受けて、県や市の共通性の目指すものがあるため、抽象度が高い説明になりがちである。それを各学校区や各学校に降ろしてきて、校長先生たちが、それぞれの実態を踏まえ、個別に具体的にしようとする。みんな同じになる必要は無く、同じにな

(4)足利市の状況について	事務局	らないから特色になる。いろんな特色の学校があることが地域の豊かさに比例する。そういうことを市全体としてどの辺を求めるのがいいのか。その答えが、この審議会からの答申の一部に入っていけばいいのかと思う。ぜひ、色々な角度からご意見いただければと思う。
	会長	「第4号議案 足利市の状況について」、事務局より説明し、了承を得た。
(5)教職員の適正な配置について	事務局	数字が並んで、少子化の現実が具体的に伝わったかと思う。国全体がこの方向であり難しいことであるが、これに向けて、10年後20年後の子ども達の姿をどうすればいいかということが1つの視点と思う。
	会長	「第5号議案 教職員の適正な配置について」、事務局より説明後、以下の意見があった。
	委員	細かく色々なデータを示していただいた。構造的な部分で難しいと思う。年齢構成など足利市だけでなく、どこも似たような感じ。これをどうしようでなく、この現状に対し、何を努力するのか知恵の出し合いになる。次回以降、この話題の時にご意見を積極的にいただきたい。
	会長	課題がたくさんあり、何を聞いたらいいかわからない部分があるが、課題を解消するなにか方策というか、そのようなことを行っている地域があるとか、今後どのように検討していくわけだが、その具体的な方策等があるようならお示しいただきたい。
	会長	私もすぐに思い浮かばず、すぐには回答できないと思う。事務局には次回までに調べていただければと思う。教職員の年齢構成や免許の部分、補助職員等、難しい問題である。本市だけの問題ではなく、現状

4 その他 5 閉会	事務局	の理解が重要であり、本日の説明を各委員受け止めていただき、次回の協議をお願いしたい。 事務局より、次回会議の日程を説明。
--------------------------	------------	--